

りそな外為レポート

りそな WEEKLY COLUMN

りそな外為レポート

「青い波」期待にご用心 (P2)

りそな銀行 市場トレーディング室
カスタマーディーラー 伊藤 一輝

今週のドル円予想レンジ **103.00 ~ 104.00**

りそなWEEKLY COLUMN

勝利の女神を微笑ませろ！～努力が運を育てる～

(P3)

埼玉りそな銀行 資金証券部
グループリーダー 小林 伸治

- 勝利の女神に好かれると運は育つ
- 自分の力を他人に見せつけてしまうと勝利の女神に嫌われる
- 失敗・挫折後の努力が大事

2020/12/28

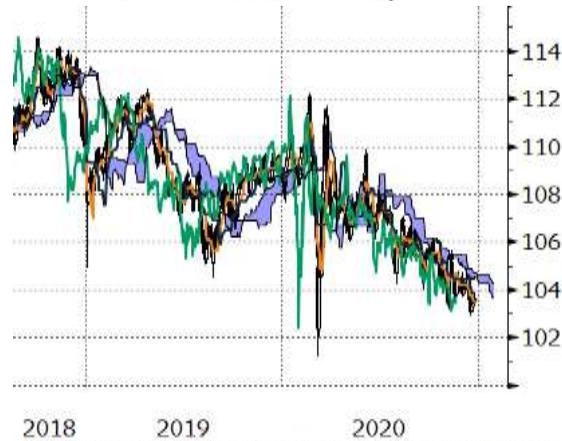
りそな外為レポート

「青い波」期待にご用心

今週のドル円予想レンジ **103.00 ~ 104.00**

(りそな銀行市場トレーディング室予想 発行当日の10時時点)

◆ドル円一目均衡表（日足）



◆為替相場のすすめ

先週のドル円は103円台で小動きとなった。英国とEUによる通商協定はクリスマス前に合意したものの、ほぼ織り込み済み。また、新型コロナ変異種の拡大については、複数の製薬会社からワクチンの有効性が示されており、相場への影響は限定的となっている。

金融政策の長期据置がさやかれる中、注目は財政支出の行方だ。米国時間1月5日にはジョージア州で上院選決戦投票(定員2名)が行われる。仮に2名とも民主党員が選出された場合、大統領・上下院とも民主党が握る「ブルーウェーブ」が実現する。景気刺激策の再拡充や米経済回復前倒しに期待が向くと、一時的にドル買い優勢の局面となりうるだろう。

本年はりそな外為レポート・ウィークリーコラムをお読みいただき、ありがとうございました。来年もよろしくお願いいたします！

(カスタマーディーラー 伊藤 一輝)

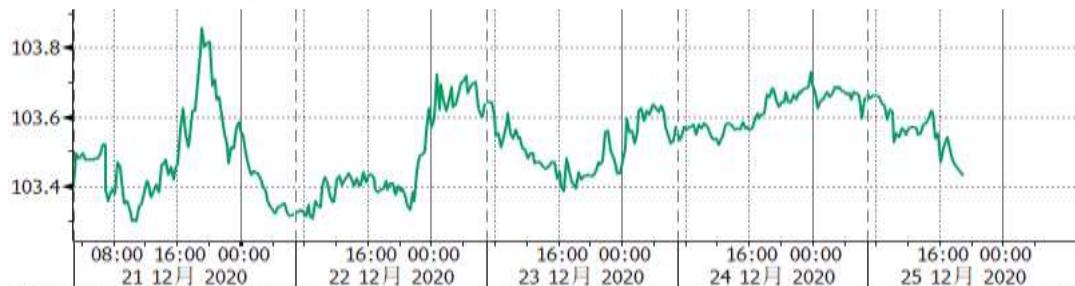
◆今週の日程

28日(月) 日 日銀<主な意見> 12/17、18	31日(木) 中 12月PMI
28日(月) 日 11月鉱工業生産	31日(木) 英 EU離脱後の移行期間の終了日
28日(月) 米 2年国債入札	
28日(月) 米 5年国債入札	
29日(火) 米 7年国債入札	

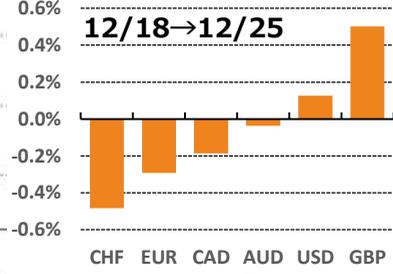
◆今週の予想 (ドル高 強い ↑ 普通 ↑ ドル安 強い ↓ 普通 ↓) NY引け値 12月25日(金) 103.43円 VS 12月31日(木)

東京										大阪				埼玉				
井口	中根	石川	湊	小新	鳥井	田中	中里	伊藤	村永	小林	鈴木	武富	上野	三浦	小林	津田	石井	佐藤
↓	↓	↓	↑	↓	↓	↓	↓	↓	↑	休	↓	↓	↓	↓	↑	↑	↓	↑

◆先週の動き



主要通貨対円パフォーマンス



◎注意事項
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

2020/12/28

りそな WEEKLY COLUMN

勝利の女神を微笑ませろ！～努力が運を育てる～

- 勝利の女神に好かれると運は育つ
- 自分の力を他人に見せつけてしまうと勝利の女神に嫌われる
- 失敗・挫折後の努力が大事

埼玉りそな銀行 資金証券部
グループリーダー 小林伸治

➤ 運を育てる



今でこそ藤井聡太氏は時代の寵児であるが、私も幼少期は棋士になりたいと真剣に思っていた。近隣では負けなしであったのだが、いつしか研鑽を怠り中学時分には強い同級生も現われ簡単に負けるようになってくると情熱は薄れていった。将棋から遠ざかっていた私に父親から1冊の本が渡された。米長邦雄氏の著書「運を育てる」という本である。米長氏は1985年十段戦に勝利し史上3人目の四冠王となり、1993年には史上最年長の49歳11か月で初の名人位を獲得する等、将棋界で数々の偉業を成し遂げている。棋士への憧れの気持ちが再燃して身震いしただけでなく、当時高校生だった私にとっては内容はちょっと刺激が強かったが、今でも日々の生活の規範となっているくらい印象的な話が多く思い出深い。一説、皆さんに紹介したい。

➤ 勝利の女神



1993年名人戦で米長氏が勝利した直後に書かれたこの著書の中で「勝利の女神」という言葉が多く出てくる。「普段から勝利の女神に好かれる行動をしていれば必ずや女神は微笑んでくれる。」「生活していく上で何か判断しなければいけない局面では勝利の女神が喜ぶ選択肢を考えそれを選択することが重要だ。」等々、勝利の女神が自分に微笑んでくれる秘訣が記されている。勝ち負けには運も大事な要素の1つだ。但し運と言うのはただ待つてつくものではなく、自ら掴みに行くものだということを当時の私は教わった。

➤ ルーティン



学生時代にラグビーに明け暮れた私にとって『これは』と思い当たることがある。2015年ラグビーワールドカップにおいて、一躍脚光を浴びた五郎丸歩選手だ。当時、五郎丸選手はキックをする前にボールを2回回して芝に2回軽く叩いてセット。3歩下がって2歩左に移動、伸ばした左右の人差し指の先を合わせ、右手の中指、薬指も立てて拳に被せ気味にする「五郎丸ポーズ」をとり、右足でキックする。この一連の流れは「ルーティン」と呼ばれ多くの人が使用するようになった。このルーティンこそ、厳しい練習の中で少しでも前進しようともがいた結果生み出されたものではないかと思う。ルーティンを利用すれば勉強や仕事の効率が高められると言われている。ルーティンにより、過去の成功体験を思い出し、気持ちを落ち着かせる効果があるからだ。ルーティンを行っている人は無意識の内に勝利の女神が微笑んでくれた過去の成功体験時と同じ行動をとることにより、勝利の女神に再び微笑んでもらおうという行動をとっているのだ。大事な局面で勝利を繰り返す人は勝利の女神に見放されないよう工夫をしているのだと思う。

りそな WEEKLY COLUMN

➤ 惜福（せきふく）



幸田露伴
出所：墨田区立図書館
Web

もう少しお付き合いしていただきたい。著書の中には「勝利の女神」の他にも心に残った話がある。「惜福」の話だ。「惜福」とは明治の文豪幸田露伴の著書「努力論」の中にある言葉で、自分に与えられた福を使い尽くさず残しておくという意味である。米長氏は「それまでの成功が成功であるという理由でその後の人生を暗転させる。」とし、人生を暗転させた例として鎌倉幕府初代将軍・源頼朝の弟・源義経を例に挙げている。義経は平家との戦いで自らの高い能力をフルに発揮し平家を滅亡に追い込んだ。しかしその後、義経は天下を制した訳ではなく、能力の高さを見せつけられた味方から疎まれ、その結果若くして非業の死を遂げたのである。

一方で自らの能力の高さに溺れることなく最終的に勝利を掴んだ人物の例として中国三国時代の魏の忠臣であった司馬懿仲達を挙げている。ライバルの蜀の軍師、諸葛亮孔明に対して兵力で圧倒していた仲達であったが、孔明を討った時点で自らの存在意義がなくなることをいち早く悟り、孔明を討たないように勝負を引き分けに持ち込む作戦に変更したのである。ご存じの方も多いと思うが、「死せる孔明、生ける仲達を走らす」という故事まで生んだこの戦いで仲達は臆病者のイメージが強い。自分の能力の高さを隠すことに成功した仲達は存在意義である孔明の死後も周囲から疎まれることもなく、魏の中で地位を固めることが出来た。そして、最後に三国全土を平定して晋という国を作ったのは司馬懿の孫の司馬炎であった。司馬懿仲達とその一族は「惜福」を実践し、中国三国時代の数ある英雄・豪傑達の頂点に立ったのだ。

「惜福」とは反対に「勝てる時に勝たねば」という考え方もある。普段の生活の中では勝てる時にきっちり勝ちきれなかった後、少しツキがなくなったと感じた経験も多いだろう。現在の自分の立場や周りの環境、将来起こりえる事等を十分に把握した上で、目の前の勝負に全力で勝ちに行くか「惜福」を実践するべきかを判断しなければならない。勿論正しい判断は簡単にできることではなく、日々の努力した経験の積み重ねが正しい判断をもたらすのだと筆者は理解した。

➤ 失敗後の行動が重要

長い人生の間には多くの運命の分かれ道があり、誰も成功を願って進む道を選択する。その重要な決断すべてが成功の道に繋がれば良いが、茨の道となってしまうことが多々ある。しかし、茨の道での反省と努力こそ自分自身に勝利の女神が微笑んでくれる最も有効な方法なのではないかと思う。米長氏は将棋界で数々のタイトルを奪取した後でも、敗戦後は特に自らの実力向上のため、教わりたい戦法を得意とする人物に素直に教えを乞うていた。たとえそれが二回り以上年下の棋士や弟子であっても説得力のある意見であれば躊躇なく意見を取り入れ実践に生かしていた。「人生にとっていちばん大切なのは、失敗や挫折の後で、どのような努力をするかにある」とも記している。怠け者の私は今までに沢山の失敗を犯してきている。なんとかこれらの失敗を乗り越えることが出来たのはその時に支えて下さった方々のお陰であることはもちろんであるが、米長氏から得た教訓によるところも多いと思う。

（参考文献）米長邦雄『運を育てる 肝心なのは負けたあと』祥伝社